

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成27年6月25日(2015.6.25)

【公開番号】特開2014-224026(P2014-224026A)

【公開日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2014-066

【出願番号】特願2013-135342(P2013-135342)

【国際特許分類】

C 03 B	5/193	(2006.01)
C 03 C	3/062	(2006.01)
C 03 C	3/064	(2006.01)
C 03 C	3/066	(2006.01)
C 03 C	3/16	(2006.01)
C 03 C	3/17	(2006.01)
C 03 C	3/19	(2006.01)
C 03 C	3/21	(2006.01)

【F I】

C 03 B	5/193
C 03 C	3/062
C 03 C	3/064
C 03 C	3/066
C 03 C	3/16
C 03 C	3/17
C 03 C	3/19
C 03 C	3/21

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月12日(2015.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

屈折率 n_d が 1.75 以上であり、下記式(1)に示す OH の値が、下記式(2)で表される関係を満足する光学ガラス。

$$OH = - [\ln(B/A)] / t \quad \dots \quad (1)$$

$$OH = 181.39 \times n_d^{-3} - 325.75 \times n_d^{-2} + 194.85 \times n_d^{-1} - 38.1 \quad \dots \quad (2)$$

[式(1)中、tは外部透過率の測定に用いる前記ガラスの厚み(m m)を表し、Aは前記ガラスに対してその厚み方向と平行に光を入射した際の波長 2500 nm における外部透過率(%)を表し、Bは前記ガラスに対してその厚み方向と平行に光を入射した際の波長 2900 nm における外部透過率(%)を表す。また、 \ln は自然対数である。式(2)中、 n_d は、前記ガラスの屈折率を表す。]

【請求項2】

貴金属の含有量が、4 ppm 以下である請求項1に記載の光学ガラス。

【請求項3】

前記ガラス成分として、 P_2O_5 を含む請求項1または2に記載の光学ガラス。

【請求項4】

モル%表示における、前記P₂O₅の含有量が、B₂O₃の含有量よりも大きい、請求項3に記載の光学ガラス。

【請求項5】

前記Nb₂O₅の含有量が5モル%以上である、請求項1～4のいずれかに記載の光学ガラス。

【請求項6】

前記Nb₂O₅の含有量が8モル%以上である、請求項1～5のいずれかに記載の光学ガラス。

【請求項7】

T_gが541以上である、請求項1～6のいずれかに記載の光学ガラス。

【請求項8】

請求項1～7のいずれかに記載の光学ガラスからなるプレス成形用ガラス素材。

【請求項9】

請求項1～7のいずれかに記載の光学ガラスからなる光学素子。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0190

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0190】

【表3】

表3

	酸化物組成							
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
屈折率nd	1.81	1.87	1.92	1.93	1.95	2.02	2.11	2.16
アッペ数vd	22.5	21.8	20.9	19.2	18.0	17.8	17.0	16.2
ガラス転移点T _g (°C)	541	604	666	652	637	601	561	558